

今後の調査予定について(案)

1 シミュレーション解析調査

- 2008 年度のシミュレーション解析手法を踏まえ、2015 年度を対象とした大気環境中の PM_{2.5} 及び光化学オキシダントの発生源寄与解析を行う。
- 2008 年度及び 2015 年度における解析結果を基に、これまでの対策の効果検証を行う。
- 削減対策による PM_{2.5} 及び光化学オキシダント濃度の低減効果について検討するため、削減シナリオを作成し、シミュレーションを用いて濃度影響を考察する。

2 対策事例調査

- 削減対策が都内に普及した場合の影響評価を考察するため、これまでの調査結果による費用対効果分析手法を踏まえ、都内普及時の影響を評価する。
- 1 の結果と併せて、削減対策に応じた PM_{2.5}・光化学オキシダント濃度への影響を評価する。

3 臨海部大気環境濃度調査

- 2015 年度の全 SO₂ 排出量の 7 割を占める船舶が航行する臨海部において、大気環境中の SO₂ 濃度の実態を把握するため、臨海部における大気環境調査 (SO₂ 濃度等測定) を実施する。

4 大気環境中濃度のデータ解析

- 大気環境の実態把握に向けて、大気環境中濃度のデータ解析を引き続き実施する。
- 広域的なバックグラウンド濃度の変動の影響について考察するため、島しょ部の大気環境データについて解析を行う。

5 大規模固定煙源調査報告

- PM_{2.5} の発生源のインベントリ等の整備を検討するため、今年度大規模煙源調査結果と併せて、既存の発生源調査結果や文献調査等を基に、PM_{2.5} の発生源情報の整理・類型化の取りまとめ結果について報告する。

6 大気汚染物質排出量の時刻別排出量のデータ収集結果報告

- オフィスビル等の業務部門の時間単位の活動パターンを示すデータを検討するため、地域冷暖房施設を中心とした燃料使用量や供給エネルギー等の時刻別データによる事業所の活動パターンの取りまとめ結果について報告する。